

# ともに生きる力を育む ～社協の福祉教育～

## はじめに

阿蘇市ボランティアセンターでは、これまで小・中学生向けの福祉教育に取り組んでまいりました。

その内容としてはハンディキャップを持った方々の福祉についてフォーカスしたプログラムが多かったのが実情です。

令和8年度より、受講対象者を限定せず、地域の企業・学校、グループ等様々な方がご利用いただけるように福祉教育のプログラム化を行います。

「みんなが幸せに暮らせる阿蘇を目指すための福祉教育」として、だれもが地域の一員として、地域の困りごとに向き合うきっかけづくりとなるようなプログラムを考えました。

より身近で、地域と共に生きる「共生」の力を伸ばせる教育の機会を提供します。まずはお気軽にご相談ください。

## 福祉教育実施までの流れ

### ①プログラムから 興味のあるものを選ぶ

プログラムを複数組み合わせることも可能です。  
また、プログラムにない内容でも一度ご相談ください。  
実施に向けて検討させていただきます。

### ②社協に連絡・打ち合わせ

希望プログラム・日時等を電話にてお伝えください。  
打ち合わせ後、申請用紙の提出をお願いいたします。

### ③福祉教育実施

社協職員をはじめ様々な立場の方を講師に招き実施をします。  
学校の授業や、職員研修、地域での勉強会等にご活用ください。

はじめての方でも一緒に企画段階からお手伝いします  
お気軽にご連絡ください

## 福祉教育プログラム集

プログラム名	内容	時間
基礎講座	福祉ってなに？みんなが幸せに暮らせるまちづくりのために、自分に何ができるのか考えるきっかけづくり。	1時間程度
地域の繋がり 支え合いを知る	自分が住んでいるまちにどのような支え合いの仕組みがあるのかを知り、自分も地域の一員として暮らしていることを学ぶ。	1～2時間程度
ボランティア講座	ボランティアってなに？基礎知識を学び、「自分にできるボランティア」や「こんなボランティアやってみよう！」を考え、実践へ繋ぐ。	1時間程度
介護職員による講話	高齢者が抱えている困りごとを知り、対応方法や気遣い、手助けの方法について学ぶ。	1時間程度
聴覚障害者に関する講話	健常者と聴覚障害者の「違いと同じ」について知り、当事者の経験談を聞き自分にできることを考える。また言語として正式に認められた手話について知る。	1～2時間程度
視覚障害者に関する講話	健常者と視覚障害者の「違いと同じ」について知り、当事者やガイドヘルパーの経験談を聞き自分にできることを考える。	1時間程度
認知症サポーター 養成講座	認知症について、即興劇やグループワークを通じて学び、当事者との関わり方などを学ぶ。	1～2時間程度
炊き出し体験	有事の際に活躍する炊き出しボランティアを体験する。	1～2時間程度
各種疑似体験	高齢者・視覚障害・聴覚障害・車いす・妊婦・赤ちゃん抱っこの疑似体験。 また、パラスポーツや福祉ロボットの体験を行う。 ※阿蘇中央高校福祉科生徒に講師をお願いすることも可能です。	各30～40分程度

ご不明な点やご質問がございましたら、下記までご連絡ください